

令和元年度 公益財団法人栃木県体育協会事業報告書

基本方針

県民のスポーツ活動に対するニーズはますます増大し、かつ多様化しており、栃木県が策定した栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」の目指す将来像「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」の実現に向け、スポーツを通じた「健やかな人づくり」を進めるとともに、国体等の本県開催を見据えた「競技力向上」を図るために、各種事業を推進した。

令和元(2019)年度は、加盟団体をはじめ関係機関・団体との緊密な連携のもと、県民スポーツ大会の開催、スポーツ少年団の育成強化、総合型地域スポーツクラブの育成、スポーツ指導者の育成及びスポーツ国際交流等の諸事業を推進し、スポーツの普及と充実を図るとともに、国民体育大会等に参加する選手の育成・強化事業を推進した。

これらの諸事業を推進するための拠点施設として、今市青少年スポーツセンター・栃木県体育館の施設整備と適切な管理運営に努めた。

1 スポーツ振興事業

(1) 各種大会開催事業

栃木県民スポーツ大会の開催

「県民ひとり1スポーツ」の推進をスローガンとして、広く県民へのスポーツ振興を図り、生涯にわたり健康や体力の保持増進を図るとともに、明朗にして連帯感あふれた活力ある地域づくりに寄与することを目的として開催した。

① 地方大会（市町大会）

市町大会を中央大会の予選として、令和元(2019)年5月～8月にかけて開催した。

② 中央大会実施競技

対抗競技20競技、オープン競技5競技を29会場で開催を予定していたが、台風19号の影響により中止とした。

③ 総合表彰式

中央大会中止に伴い、開催していない。

(2) スポーツ医・科学事業

スポーツの多様化・高度化及び活性化に対応するため、スポーツ医・科学委員会が理事会の諮問に応じスポーツ医科学に関する調査・研究活動を実施し、適正なスポーツ指導を行った。

さらに、第77回とちぎ国体を視野に、各競技団体から推薦された有望選手のチームを対象に、県競技力向上対策本部からスポーツ医・科学サポート事業を受託し、競技力の向上に努めた。

ア スポーツ医・科学委員会及び研究班員会の開催

- ① スポーツ医・科学委員会 3回（6月13日（木）、10月31日（木）、2月27日（木））
- ② ワーキンググループ会議 3回（5月30日（木）、10月17日（木）、2月13日（木））
- ③ 健康管理調査研究班員会 2回（8月29日（木）、1月9日（木））

イ 調査・研究活動

① 国体選手の健康管理調査

健康管理調査研究班員を中心に、国体に参加する選手を対象にメディカルチェックを実施し、日頃のトレーニングや大会参加中の事故防止に万全を期すると同時に、県内の（公財）日本スポーツ協会公認スポーツドクターとの連携を図った。

- ② 医科学分野をはじめとするメディカルサポート事業
一人でも多くの県民が豊かなスポーツライフを享受するため、医科学分野をはじめとした総合的なサポート事業を実施した。
- ③ スポーツ医・科学サポート事業
競技力の向上を目的に、医学・科学・栄養学・AT・心理学・社会学の専門家を希望する競技（延べ27チーム）に派遣した。
- ④ 国体選手を中心としたドーピング防止教育・啓発活動（健康管理調査研究班員会）
国体におけるドーピングコントロール実施に伴い、国体に参加する選手、監督及びコーチを対象に薬の乱用・誤用の認識を高めるため、研修会の開催や資料の配布等を通して健全なスポーツ活動の啓発を推進した。

ウ スポーツ医科学情報の提供

ホームページ等を活用し、スポーツ医科学の情報提供に努めるとともに、スポーツ医・科学サポート事業報告書を作成した。

エ 女性アスリートサポート事業

第77回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部から女性アスリートサポート事業を受託し、女性アスリート特有のスポーツ障害を予防し、競技力を向上させるために必要な各種測定、指導を実施した。

① 貧血検査等の実施

対象チームの選手に対して問診票の回答を基にスクリーニングし、検査対象になった選手に対しては（公財）栃木県体育協会にて作成した検査項目を基に血液検査等を実施し、検査結果を基に、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士の指導の下、予防、改善に努めた。

② アスレティックトレーナーの派遣

女性アスリート並びに競技特性によって起こりうる特有の障害を予防するために、（公財）日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーを派遣し、動作評価並びに指導を行った。

③ メンタルトレーナーの派遣

月経前症候群等、女性アスリート特有の問題を抱える選手をスクリーニングにて抽出し、個人面談並びに指導者との面談を通して、選手チームに合わせたルーティーンの構築や目標達成のためメンタルトレーナーを派遣した。

(3) 顕彰事業

本県体育・スポーツの振興に貢献し、その功績顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、その栄誉を称え表彰した。〔令和2年2月21日（金） 栃木県昭和館〕

ア スポーツ功労賞

地域職域等において、指導者等として永年にわたってスポーツの普及・発展に貢献した者、又は、加盟団体等の役員・指導者として振興・発展に貢献した者8名を表彰した。

イ スポーツ優良団体賞

地域社会・職場職域等において、永年にわたってスポーツの普及・振興に貢献した5団体を表彰した。

ウ スポーツ優秀選手賞

国際大会に出場及び日本選手権大会で優勝並びに国際大会で優秀な成績を残した選手17名を表彰した。

エ 国民体育大会優秀団体・監督・選手感謝状

国民体育大会において、優秀な成績を収めた19競技団体の監督等33名及び選手186名に感謝状を贈呈した。

オ 栃木県中学校スポーツ最優秀賞（星功賞）

心身ともに健康な中学生を対象に各種スポーツ大会において優秀な成績を収め、本県中学校スポーツの振興に貢献のあった個人又は団体を、（公財）栃木県体育協会及び栃木県中学校体育連盟の連名で選手36名を表彰した。

(4) スポーツ指導者育成事業

本県スポーツの一層の振興を図るため、多様化・高度化した県民のニーズに応え、適切な指導のできる地域スポーツ指導者を育成した。

ア 公認コーチ1養成講習会の開催

① 公認コーチ1養成講習

地域住民のスポーツに対するニーズに対応し、地域スポーツクラブやスポーツ教室における個々人の年齢、競技レベルに応じた競技別の技術指導等にあたる公認の指導者の養成を目的とする公認コーチ1養成講習会を開催し、専門科目において56名（空手道18名、アーチェリー28名、弓道10名）が受講した。

② 公認コーチ2養成講習会

地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室の指導や事業計画の立案などにおいて、クラブの中心的な役割を担うとともに、広域スポーツセンターや市町村エリアにおいて、競技別指導にあたる者の養成を目的とする公認コーチ2養成講習会を開催し、16名が受講した。

イ スポーツ指導者研修会の開催

（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者及び本県のスポーツ指導者に対し、資質の向上と指導活動の充実を図ることを目的として令和元（2019）年6月30日（日）と令和2年2月2日（日）に開催し、県総合教育センターにおいて計159名の参加者を得て実施した。

ウ （公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰

永年にわたり公認スポーツ指導者として、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績があった者を表彰し、その功に報いるとともに、今後における公認スポーツ指導者制度の一層の発展に資することを目的として実施されるものであるが、令和元年度は対象者がいなかった。

(5) 広報事業

県民の理解と協力を得るため、本協会活動状況、主催事業等を積極的に広報するとともに、県内のスポーツ情報を収集し、広く県民に情報提供することに努めた。

ア 県体協だよりの発行

イ 体協アワー（栃木放送）による広報

ウ 栃木県体育館月報の発行

エ 今市青少年スポーツセンターパンフレットの発行

オ ホームページによる広報

カ その他新聞・放送等の媒体による広報

(6) スポーツ教室の開設

県民のスポーツに対する多様なニーズに応え、次のとおりスポーツ教室を開設した。

○ スポーツ教室種目（4月～2月）	9講座		（参加者 延べ 5,571名）
・ ZUMBA	1講座（通年：昼間）		（参加者 延べ 1,960名）
・ 健康ヨガ	1講座（通年：昼間）		（参加者 延べ 1,222名）
・ バレトン	1講座（通年：昼間）		（参加者 延べ 685名）

・健康楽のりストレッチ	1講座（通年：昼間）	（参加者 延べ 600名）
・太極拳	1講座（4～10月：夜間）	（参加者 延べ 185名）
・呼吸を感じるゆったりピラティス	1講座（4～10月：夜間）	（参加者 延べ 501名）
・キッズサマースクール	3講座（7～8月：昼間）	（参加者 延べ 418名）

○ 「とちぎの子ども元気塾」事業

将来を担う子ども達に、様々な運動遊びを行い、身体を動かす楽しさを体験させ、子ども達の発育・発達に応じたスポーツの基礎づくりを行った。

- ・期間 6月～1月 全14回
- ・種目 コーディネーショントレーニング・タグラグビー・アキティブチャイルドプログラム・バドミントン・親子サッカー・野球・ホッケー・水泳・クライミング・スポーツチャンバラ・スケート・ハンドボール・陸上・バスケットボール・親子スケート・保護者向け講習会（障害予防講習会・栄養講習会）
- ・参加人数 延べ 478名

(7) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

未設置市町に対しセミナーを実施した。また、県内の総合型クラブに対し、現地ヒアリングを行い、情報交換等を行った。さらに、栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営の充実を図った。

ア クラブ設立・運営支援活動

- ① クラブアドバイザーを2名配置し、クラブ訪問等を通し運営の助言・指導を行った。
- ② 未設置市町に対し訪問しヒアリングを実施した。

イ 栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営

- ① 栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を2回（5月、7月）開催し、クラブ相互の情報交換やクラブ運営の研修を行った。
- ② 総合型SCフェスタ（スポーツイベント）を県内6地区において開催し、クラブ間交流及びスポーツ未実施者への啓発を図った。

ウ スキルアップセミナー

地域スポーツクラブ指導者及び関係者に対し、ロコモティブシンドロームと中高年層の健康に関する知識及び指導力の向上を図り、県民スポーツの推進を目的に開催した（令和元(2019)年6月22日（土）、8月31日（土））。

エ とちぎスポーツクラブセミナー

県内生涯スポーツ関係団体及びスポーツ行政関係者を対象に、「他団体との連携・障害者スポーツの導入実践例」をテーマとしたセミナーを開催し、「障害者スポーツにおける総合型地域スポーツクラブの取り組み」についての講義及び「地域スポーツでできる障害者スポーツ」についてのグループワークを行った（令和元(2019)年7月27日（土））。

オ とちぎスポーツリーダーバンク

指導者を必要としている団体・個人の依頼を受けて公益財団法人日本スポーツ協会公認資格指導者を紹介する指導者紹介制度を運用し、関係競技団体及び市町行政等と連携して周知・啓発を図り、指導者の紹介を行った。

2 スポーツ少年団育成事業

(1) 市町スポーツ少年団の育成充実

スポーツ活動を通じて、次代を担う青少年の健康な身体と心を育てるとともに、全国的な子どもの体力低下に歯止めをかけるべく、体力向上に寄与した。また、地域社会における豊かな人間関係や連帯感を醸成するため、市町のスポーツ少年団指導者・団員の登録並びに母集団の育成強化を促進し、指導者・リーダーの養成及びスポーツ少年団活動の充実を図った。

ア 市町におけるスポーツ少年団組織の強化

市町スポーツ少年団組織の整備と充実強化を図るため、スポーツ少年団委員総会・指導者協議会等を開催するとともに日本スポーツ少年団及び各都道府県スポーツ少年団と連携強化に努めた。

イ 指導者・リーダーの養成

スポーツ少年団活動の充実を図るため、指導者及びリーダーの養成と資質の向上を目的とする講習会・研修会を開催するとともに、市町事業への助成と中央事業への派遣を実施した。

① 講習会・研修会の開催

○ 栃木県スポーツ少年団指導者研修大会

市町においてスポーツ少年団の育成・指導にあたっている単位団指導者・市町事務担当者・指導者協議会委員・保護者を対象に、スポーツ少年団育成に係る諸問題の把握と指導者の資質向上を図ることを目的として開催した。なお、研修会に先立ち、日本スポーツ少年団表彰伝達式及び県スポーツ少年団表彰状授与式を行った。

〔令和2年1月26日（日） 栃木県総合教育センターで実施90名が参加した。〕

○ ジュニア・リーダースクール

スポーツ少年団で中核となるリーダーの養成を図り、将来におけるシニアリーダー、指導者を育成することを目的として開催し、栃木県4名、宇都宮市44名、鹿沼市57名、那珂川町2名、佐野市40名、矢板市6名の合計153名を認定した。

○ リーダーズクラブ研修会

スポーツ少年団のリーダーとしての資質の向上、会員相互による情報の交換及び親睦を図ることを目的として、1泊2日の合宿研修を含め3回の研修会を開催した。

〔延べ63名参加 このうち1泊2日の合宿研修を1回実施した。〕

② 認定員養成講習会事業の開催

各単位団においてスポーツ少年団の育成指導にあたる「スポーツ少年団認定員」の養成を目的として、「日本スポーツ少年団指導者制度」に基づくスポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会を開催し、県内10コース592名が参加した。

③ 中央事業への派遣

○ スタートコーチインストラクター移行研修会

スポーツ少年団認定育成員で、認定期間を4ヶ年経過する者に対し「日本スポーツ少年団指導者制度」に基づく移行研修会に、該当する育成員19名を派遣した。

○ シニア・リーダースクール

スポーツ少年団リーダーの資質向上を図るとともに、将来における指導者の養成を目的としたリーダースクール（令和元(2019)年8月8日（木）～12日（月）静岡県国立中央青年交流の家にて開催）に4名の団員を派遣した。

- (2) 全国・関東スポーツ少年大会・スポーツ少年団競技別交流大会等への派遣事業
全国または関東大会等に代表者を派遣し、様々な交流活動により各参加者の資質の向上を図った。

ア 第57回全国スポーツ少年大会

期 日：令和元(2019)年8月1日(木)～4日(日)

会 場：長崎県

〔指導者1名、団員2名を派遣した。〕

イ 全国スポーツ少年団競技別交流大会(バレーボール・剣道)

① バレーボール 期 日：令和2年3月27日(金)～30日(月)

会 場：岐阜県

県代表：女子 小山Vクラブ〔小山市スポーツ少年団〕

② 剣 道 期 日：令和2年3月27日(金)～29日(日)

会 場：長野県

県代表：団体戦5名〔鹿沼市スポーツ少年団〕

個人戦2名〔鹿沼市・大田原市スポーツ少年団〕

ウ 令和元(2019)年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会

期 日：令和元(2019)年6月15日(土)～16日(日)

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター

〔指導者1名、リーダー1名を派遣した。〕

エ 第38回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

期 日：令和元(2019)年7月26日(金)～28日(日)

会 場：群馬県前橋市ほか

〔軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道の代表チームが参加した。〕

オ 第50回関東ブロックスポーツ少年大会

期 日：令和元(2019)年8月23日(金)～25日(日)

会 場：千葉県

〔指導者1名、団員8名を派遣した。〕

カ 第18回関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会

期 日：令和元(2019)年10月19日(土)～20日(日)

会 場：埼玉県

〔指導者1名、リーダー3名が参加した。〕

- (3) 県競技別交流大会・交歓会の開催

ア 競技別交流大会

軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・卓球・剣道・柔道・バドミントン・空手道の8競技について、各関係競技団体の協力を得て交流大会を開催し、3,204名の団員の参加があった。

イ 交歓会

市町の小学生団員の代表を対象とし、野外活動や文化活動による交流活動を通して、友情・自立・奉仕の精神を養い、地域における団活動の充実に資することを目的として開催した。

期 日：令和元(2019)年8月9日(金)～11日(日)

場 所：今市青少年スポーツセンター

〔指導者6名、団員34名の参加があった。〕

(4) スポーツ少年団国際交流事業

スポーツ少年団の発展を目的に世界的視野を持った将来のリーダーを育成するため、(公財)日本スポーツ協会が実施するスポーツ少年団リーダー等の受入事業を実施した。

ア 第45回日独スポーツ少年団同時交流

受入

期日：令和元(2019)年7月25日(木)～7月29日(月)

受入先：佐野市

(5) 顕彰事業

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある単位スポーツ少年団並びに指導・育成に貢献し功績のあった登録指導者等を表彰した。

[登録指導者表彰 6名、単位団表彰 5団、育成母集団表彰 2団]

3 競技力向上事業

国民体育大会において常に上位の成績を狙えるよう競技力の向上に努めるとともに、国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成を図るため、競技団体及び関係機関・団体との緊密な連携のもと各種事業の推進を図った。

(1) 国体選手等派遣事業

ア 国民体育大会栃木県選手団本部運営

国体本大会等への参加にあたり、選手・監督・関係者による「栃木県選手団」を結成し、結団式や指定証授与式を開催し、各種大会への派遣・同行、その他関係機関との連絡調整など選手団本部運営に係る事務を行った。

イ 国民体育大会派遣費の補助

参加資格を有する者として競技団体が選考した選手等の国体本大会(先行競技を含む)、冬季大会、関東ブロック大会への派遣に要する経費(旅費、宿泊料等)の補助を行った。

ウ 国民体育大会栃木県予選会開催経費の補助

競技団体が主催する当該年度の国体予選会の開催に要する経費(会場使用料)の一部を補助した。

エ スポーツ専門員配置

優れた競技技術・経験を有するものを「スポーツ専門員」として県内高等学校等に配置し、本県競技力の一層の向上を図った。

(2) 選手育成強化運営事業

ア スポーツ医・科学委員会研究班員会の開催

健康管理調査研究班員会：国民体育大会における選手の健康管理調査を実施し、大会参加中の事故防止に努めた。ドーピング防止教育について理解を深めるとともに検査実施に戸惑いなく対応し、競技に専念できるように支援した。

イ 競技用具貸与支援

本協会が保有するヨット等の競技用具を競技団体に無償で貸与し、競技の普及・強化を図った。

※ 参 照 国民体育大会

- (1) 関東ブロック大会(千葉県開催)
- ア 実施競技(32競技)
- | | |
|---------|------|
| ○ 本大会競技 | 31競技 |
| ○ 冬季競技 | 1競技 |
- イ 中心会期
- | | |
|--------|------------------------------|
| ○ 本大会 | 令和元(2019)年 8月23日(金) ~ 25日(日) |
| ○ 冬季大会 | 令和元(2019)年12月 6日(金) ~ 8日(日) |
- (2) 国民体育大会
- ア 第74回本大会(茨城県)
- | |
|--------------------------------|
| 令和元(2019)年 9月 7日(土) ~ 16日(月) |
| 令和元(2019)年 9月28日(土) ~ 10月8日(火) |
- イ 第75回冬季大会
- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| ○ スケート競技会(青森県) | 令和2(2020)年 1月29日(水) ~ 2月 2日(日) |
| ○ アイスホッケー競技会(青森県) | 令和2(2020)年 1月29日(水) ~ 2月 2日(日) |
| ○ スキー競技会(富山県) | 令和2(2020)年 2月16日(日) ~ 19日(水) |

4 今市青少年スポーツセンター事業

スポーツを通じて青少年の健全育成と地域スポーツの振興、また、生涯スポーツの実践拠点並びに競技スポーツの拠点として、施設の有効活用と適正な管理運営を図った。

(1) スポーツ推進事業

ア スポーツ教室の開設

〈種 目〉

- | | | | |
|--------|-----|--------------|-----------------|
| ・ピラティス | 2講座 | (春、秋：一般男女対象) | (参加者 延べ 1,247名) |
| ・ヨガ | 2講座 | (春、秋：一般男女対象) | (参加者 延べ 241名) |

(2) 施設無料開放

県民の日記念協賛事業として、各種スポーツ教室の無料体験及び施設を一般に無料開放した。

開 放 日：令和元(2019)年6月16日(日) 参加者：263名

- ・各施設の無料開放
- ・各種スポーツ無料体験

小学生ホッケーセミナー、ヨガ、ピラティス、チャレンジクライミング

(3) 施設貸与事業

ア 宿泊者・外来者の利用促進

- | | |
|--------|---------|
| ・宿泊利用者 | 4,624名 |
| ・施設利用者 | 58,747名 |

イ 施設管理事業

施設利用者の安全と利用人員の増加を図るため、施設の保守整備・環境整備を実施した。

(4) 施設整備事業

令和2年のインターハイ並びに令和4年の「いちご一会とちぎ国体」に向けた人工芝競技場及び屋外トイレの改修工事を実施した。

(5) 日光市ホッケー場管理運営業務

日光市から委託を受け、日光市ホッケー場の管理及び運営業務を行った。

5 栃木県体育館等管理運営事業

本県体育スポーツの中核施設として、施設の適正な管理運営を図るとともに、スポーツ教室、各種イベント等の事業を開催し、本県体育スポーツの振興を図った。

(1) 会議の開催

ア 栃木県体育施設協会理事会	令和元(2019)年 7月 5日(金)	本館大会議室
イ 栃木県体育施設協会理事会、研究協議会	令和元(2019)年 12月 5日(木)	公園事務所会議室
ウ 専用利用調整会議	令和2(2020)年 2月 3日(月)	武道館大会議室

(2) スポーツ教室の開設(再掲)

県民のスポーツに対する多様なニーズに応え、次のとおりスポーツ教室を開設した。

○ スポーツ教室種目(4月～2月)	9講座	(参加者 延べ 5,571名)
・ ZUMBA	1講座(通年:昼間)	(参加者 延べ 1,960名)
・ 健康ヨガ	1講座(通年:昼間)	(参加者 延べ 1,222名)
・ バレトン	1講座(通年:昼間)	(参加者 延べ 685名)
・ 健康楽のリストレッチ	1講座(通年:昼間)	(参加者 延べ 600名)
・ 太極拳	1講座(4～10月:夜間)	(参加者 延べ 185名)
・ 呼吸を感じるゆったりピラティス	1講座(4～10月:夜間)	(参加者 延べ 501名)
・ キッズサマースクール	3講座(7～8月:昼間)	(参加者 延べ 418名)

(3) 県民の日記念協賛事業(施設無料開放)

令和元(2019)年6月15日(土) 栃木県体育館内全施設 参加者 : 716名

(4) 武道館協議会共催事業

ア 地域指導者研修会(少林寺拳法)	令和元(2019)年8月31日(土)～9月1日(日)	栃木県武道館
イ 地域指導者研修会(弓道)	令和元(2019)年8月19日(月)～20日(火)	栃木県武道館
ウ 地方青少年なぎなた錬成大会	令和元(2019)年7月6日(土)～7日(日)	栃木県武道館

(5) 貸館業務(本館・別館・武道館・弓道場・プール館)

利用者延数	専用利用	99,664名
	普通利用	49,789名(専用・普通利用合計 149,453名)
	その他	9,802名(会議室 9,086名)
	合計	159,255名

(6) 施設の点検整備

施設の利用者の安全と適正な管理運営を図るため、各施設の点検整備を行った。

ア 本館フロアバレーボール支柱基礎改修工事
イ 本館小便器自動洗浄部修繕
ウ プール館玄関ドア交換工事
エ 本館男子トイレ大便器フラッシュバブル修繕
オ 本館正面駐車場舗装修繕工事
カ 本館ロビー照明交換工事
キ プール館ロビー照明交換工事
ク プール館ボイラー用屋外膨張配管修繕工事
ケ プール館ボイラー用給水配管交換工事

6 スポーツ安全協会委託業務

公益財団法人スポーツ安全協会から委託を受ける、スポーツ傷害等の団体保険に関する業務を行った。

7 協会運営

本協会の運営について、基本的事項を協議するとともに事業を遂行するため次のとおり、理事会等を行った。

(1) 理事会（5回）

第1回理事会（令和1（2019）年6月4日（火））

協議事項 1. 平成30（2018）年度公益財団法人栃木県体育協会事業報告について 2. 平成30（2018）年度公益財団法人栃木県体育協会収支決算について 3. 常務理事の選定について 4. 副会長の推薦及び顧問の推挙について 5. 評議員候補者の推薦について 6. 公益財団法人栃木県体育協会名称の変更について 7. 公益財団法人栃木県体育協会定款の変更について 8. 公益財団法人栃木県体育協会諸規程等の改正について

報告事項 1. 第77回国民体育大会デモンストラションスポーツの実施申請について 2. 栃木県総合運動公園（北・中央エリア）及び栃木県スポーツ医・科学センター（仮称）の指定管理について 3. 職務執行状況の報告について

書面表決理事会（令和1（2019）年6月24日（月））

協議事項 1. 平成31（2019）年度公益財団法人栃木県体育協会補正予算について

第2回理事会（令和2（2020）年1月17日（金））

協議事項 1. 令和元年度スポーツ顕彰について 2. 公益財団法人栃木県体育協会の事務所移転について 3. 今市青少年スポーツセンター施設等使用料金の改定について 4. 公益財団法人栃木県体育協会第2回評議員会の招集及び提出議題（案）について

報告事項 1. 栃木県体育協会退任役員等に対する感謝状の贈呈について 2. とちぎスポーツフェスタ2019実施結果について 3. 第74回国民体育大会結果概況について 4. 評議員選定委員会の報告について 5. 栃木県総合運動公園北・中央エリア、とちぎスポーツ医科学センターの指定管理者の指定について 6. 第77回国民体育大会の決定について 7. 職務執行状況の報告について

臨時理事会（令和2（2020）年2月26日（水））

協議事項 1. 公益財団法人変更認定申請について 2. 令和2年度公益財団法人栃木県スポーツ協会事業計画について 3. 令和2年度公益財団法人栃木県スポーツ協会収支予算について 4. 特定資産（栃の葉国体記念スポーツ振興基金）について

第3回理事会（令和2（2020）年3月27日（金））

協議事項 1. 公益財団法人栃木県スポーツ協会諸規程の改正について 2. 理事会が推薦する評議員について 3. 公益財団法人栃木県スポーツ協会役員報酬について 4. 令和2年度公益財団法人栃木県スポーツ協会第1回評議員会の招集及び提出議題について 5. 職員の表彰について

報告事項 1. 令和2年度公益財団法人栃木県スポーツ協会収支予算書の修正について 2. 今市青少年スポーツセンターテニスコートの廃止について 3. 第76回国民体育大会関東ブロック大会の開催について

(2) 評議員会 (3回)

書面評決評議員会 (平成31(2019)年4月10日(水))

協議事項 1. 理事の選任について

第1回評議員会 (令和元(2019)年6月20日(木))

協議事項 1. 平成30(2018)年度公益財団法人栃木県体育協会事業報告について 2. 平成30(2018)年度公益財団法人栃木県体育協会収支決算について 3. 副会長の推薦及び顧問の推挙について 4. 評議員候補者の推薦について 5. 公益財団法人栃木県体育協会名称の変更について 6. 公益財団法人栃木県体育協会定款の変更について

報告事項 1. 公益財団法人栃木県体育協会諸規程等の改正について 2. 第77回国民体育大会デモンストラションスポーツの実施申請について 3. 栃木県総合運動公園(北・中央エリア)及び栃木県スポーツ医・科学センター(仮称)の指定管理について

第2回評議員会 (令和2(2020)年3月19日(木))

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、評議員会を中止し資料を送付した。

報告事項 1. 令和2年度公益財団法人栃木県スポーツ協会事業計画について 2. 令和2年度公益財団法人栃木県スポーツ協会収支予算について 3. 評議員選定委員会の報告について 4. 栃木県総合運動公園北・中央エリア、とちぎスポーツ医科学センターの指定管理者の指定について 5. 第77回国民体育大会の決定について

(3) 専門委員会

ア 総務委員会 (3回)

イ スポーツ医・科学委員会 (3回)

ウ 競技力向上委員会 (休止)

(4) 賛助会

県民総スポーツの振興が果す社会的役割と、これを推進する本協会の諸事業について県民各層の理解を得るとともに、事業実施に必要な資金を調達し財政確立を期するため、企業団体、加盟団体、個人会員等に働きかけ、賛助会員の加入促進を図った。〔 賛助会員225者、289口 〕

(5) 国際交流事業

ア 地域交流推進事業として、栃木県バドミントン協会選手団を中国へ派遣した。